

## ごあいさつ

近年、急速に進む少子高齢化とそのことによる過疎化、地方分権の進展、高度情報化社会・国際化の到来、地球規模で環境問題など本町を取り巻く社会経済環境は大きな変動を続けています。

本町では平成14年3月に策定した『第2次高野町長期総合計画』に沿ってまちづくりを進めてまいりましたが、このような状況の中でこれからの時代にあったまちづくりを進めていくには従来の計画では対応しきれない課題が見出されてきており、新たな計画を策定する必要が生じてまいりました。

このため、この度、「豊かさに満ちた活気あるまちづくり」としての高野町のあり方、また、高野町開創1200年を迎えるにあたって、本町の「目指すべき将来像」とそのために取り組むべき施策等を明らかにした『第3次高野町長期総合計画』を策定いたしました。

本計画は、平成21年度から平成30年度までの10ヶ年を計画期間とする、今後の新たなまちづくりを総合的かつ計画的に進めていくための指針となるもので、高野町の将来像を「歴史と文化を守り伝える“こころ”豊かな高野町」と設定いたしました。

計画の実行にあたっては、町民の皆様のご協力が必要不可欠です。住民の皆様と行政が共通の目的を持ち、それぞれの役割と責任を認識し、お互いに協力しながら一体となって、活気あふれる明るい高野町の更なる発展を目指します。そして「高野町に住んで良かった、今後も住み続けたい」と思っただけのまちづくりを積極的に進めていく所存でございますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

おわりに、本計画の策定にあたり、多くの貴重なご意見をいただきました町民の皆様をはじめ、熱心にご議論いただきました審議会委員の皆様、町議会、関係各位に心から御礼申し上げます。

平成22年5月



高野町長 木瀬武治

# 歴史と文化を守り伝える

## “ ころ ” 豊かな高野町

高野町は弘法大師空海の開創以来、1200年の歴史と伝統が息づく真言宗の聖地“高野山”を中心とした、歴史と文化、豊かな自然を有する町です。

古くから多くの日本人の心のふるさととして慕われてきましたが、2004年のユネスコの世界遺産に認定登録以降は、国内はもとより世界からも注目されるようになりました。

私たち高野町民は過去から引き継がれてきた誇り高き歴史・文化・伝統・環境を守り、自分たちの手で次世代に引き継いで行かなければなりません。

こうした誇りと使命をもって、町の将来像を「歴史と文化を守り伝える“ころ”豊かな高野町」と定め、住みたい・住み続けたいと思えるような高野町の将来像とその道筋を明らかにしたいと思えます。

## まちづくりの主体像

本計画は、「宗教環境都市」高野町の将来目標を定め、その目標実現のために取り組む施策の基本的方向を示したものであり、町行政の基本的方針となるまちづくりの総合計画です。

まちづくりの主役は住民です。本計画の推進にあたっては、町はもとより、住民が積極的にまちづくりに参画し、共通の目標を持ち、それぞれの役割と責任を認識し、互いに協力しながら進めます。





### 1 こころふれあう健康と安心のまちづくり

私たちにとって、安心、安全、快適、そして健康的に暮らせる日々の実現は、最も基本的で大切なことです。ここではそれぞれの担い手がその責任や能力に応じて役割を分担し、住民自らがこころを一つにしてまちづくりに参画し、明るく活力ある地域をつくります。

#### 社会参画の仕組みづくり

地域で支えあうネットワークづくりを推進し、地域コミュニティの結束を強くします。また、お年寄りの方や、障がいを持っている方も地域社会の一員として誇りと生きがいを持ち、安心して元気に暮らせるような仕組みづくりを進めます。



#### 生活環境の基盤整備

安心して生活できる居住環境の整備、安全でおいしい水の確保と供給、生活道路の整備や地域に密着した交通手段の確保など、町民誰もが安心、健康、快適な生活をおくれる生活環境の整備を進めます。

また、TVの地上デジタル放送への対応や、携帯電話がつかない地域の解消、高速インターネット通信網など、情報化時代に歩調をあわせた情報通信網の整備を国や県、民間と協力して進めます。



## 少子化対策の充実

子どもたちは、無限の可能性を秘めた「まちの宝」であり、「活力の源」です。このため、「子育てする全ての家庭を、地域全体で支えていく」という視点に立ち、子どもを生み育てる家庭への支援の充実を図り、子どもが健やかに育つ環境づくりを推進します。



## 福祉・社会保障の充実

町民だれもが人として尊重され、安心して暮らせるよう、共に助け合い、こころ豊かな福祉のまちづくりを目指します。そして住民自らが「自立と相互扶助」の立場に立ち、生きがいを持って自立した生活をするこゝのできるまちづくりを目指します。また、個人の尊厳を尊重しつつ社会全体で支えあう「自助」、「共助」、「公助」の地域の実現を目指していきます。

## 保健・医療体制の充実

町民が健康を維持し健やかに過ごせるために、病気の早期発見、早期治療のための各種検診制度の充実など、疾病の予防施策を推進します。そして町民が必要なときに必要な医療を受診できるように、高野山病院、富貴診療所の診療体制の充実を図ります。

## 防災・安全の確立

町民の命と財産はもとより、地域の宝である文化財等を守り伝えるため、防災体制の確立と安心・安全のまちづくりを進めます。また、高野町を訪れる参詣者、観光客の安心と安全を図るための体制整備を進めます。

## 効率的な行財政運営

本町の行政施策や事業等に関する情報の公開に努め、地域が情報を共有し、住民が積極的にまちづくり活動に参加できる機会や活動の場を広げます。また、人と人や、地域と地域の交流をさらに深め、より良いまちづくりを推進します。一方、財政健全化計画により財源の確保と経常的な歳出の抑制に努めつつ、計画的な財政運営に努めます。

## 2 まちの誇りを次世代へ伝え育てる魅力あるまちづくり

私たちはふるさとの自然や歴史・文化・伝統、そしてそこから生まれてきた伝統産業を、誇りを持ってしっかりと次代に引き継いで行かなければなりません。

このため、郷土の歴史・文化・伝統や弘法大師空海を学ぶ、ふるさと教育を充実させます。そして次代を担う子どもたちにも郷土の誇りを学び、心身とも健康で思いやりのこころを持った、逞しい人間に育つよう努めていきます。

### 学校教育の充実

郷土愛を持ち、自ら主体的・創造的に社会の変化に対応できる力と、思いやりのこころを持った逞しい人間に育つよう教育を進めます。また、日本人としてのアイデンティティを育てると共に、国際社会に生きる日本人として必要な資質と自覚をもった子どもたちを育てます。



### 社会教育の推進

住民一人ひとりが「高野町に住んでよかった」、「これからも住み続けよう」という気持ちと、住民による町づくり参加意識の醸成は大切な事です。このため、住民一人ひとりが参加でき、いきいきとした自主的な住民のための学習環境を整備し、「高野山学」や「高野山創造学」、「大人のサンわく学」など、様々なプログラムを企画して高野町ならではの社会教育を目指します。

### 高野山学・高野山創造学

「聖地高野山」の根底に流れる精神の真髄を“学び”・“守り”・“伝える”場である「高野山学」や「高野山創造学」などの講座を通じ、次世代を担う人材のまちづくりにおける「基本理念」と「こころ」を養います。そして同時に高野山の魅力の再発見及び情報発信へとつなぎ、交流人口増大策にも活かしていきます。



### 3 歴史・伝統に培われた風格と魅力ある快適なまちづくり

高野山は真言密教開創の地として、歴史と伝統あるまちです。私たちは、こうした歴史と伝統に培われたまちなみを守り、未来へと引き継ぐ担い手として、より風格と魅力ある快適で美しいまちづくりを目指します。

#### 景観づくり

平成21年3月より景観法に基づく景観計画がスタートしました。ここでは伝統的なかたちや材料を用い、周りの風景と調和した伝統的な日本建築をつくることを基本とします。商店街の修景や歩道の整備など、高野山にふさわしい質の高い風情あるまち並みづくりを進めます。

寺院の建ち並ぶまち並み



#### 交通体系づくり

高野山のまちなかを歩行者主体の交通体系に転換し、誰もが円滑に移動できる歩行環境の改善や、公共交通の見直しを進めます。また、通過交通体制や移動手段の適正化につとめ、自動車交通量の減量化や環境に配慮した低床バスの導入など、人と環境にやさしい交通体系づくりを進めます。





## 4 産業の育成による豊かなまちづくり

高野町は豊かな自然と世界遺産高野山を抱える歴史ある町です。私たちはこうした特色ある地域資源を活用し、地域に根ざした高野町独自の産業を育成します。そして自立した豊かなまちを目指します。

### 観光産業の振興

高野山の伝統・文化や緑あふれる大自然の魅力など、町の特性をいかした観光産業の育成充実をはかり、観光事業の活性化を推進します。

### 農業の振興

高冷地の特性を活かした高原野菜などを高野山ブランドとして育て、宿坊などでの地元料理への活用や、直売会や直売所など地域と連携して消費拡大に向けた仕組みづくりを進めます。

また、グリーン・ツーリズムの展開と、特に子どもたちに高野町の良さを知っていただくため、「子ども農山漁村交流プロジェクト」の充実をはかります。一方、健全な農業の育成推進の一環として、農地の保全策を講じていきます。



### 林業の振興

国・県の補助制度を活用して効率的な作業道を敷設し、低コスト林業の推進を図ります。また高野材（高野霊木）としてのブランド化を進め、森林管理から販売までの流通販売システムの構築を推進します。

一方“町の木”でありシンボルでもある“高野槇”の販路拡大を推進します。また、高野山の森林の魅力を活かした“森林セラピー”事業を推進し、観光事業にも活かしていきます。



### 商工業の振興

外との交流を中心とした商工業の活性化を図るため、高野山にふさわしい魅力ある寺内商店街づくりを進めます。また、農林業や観光産業と連携して高野山ブランド商品の開発、製造、販売を進めます。

一方、協業化の推進や融資制度を活用し、経営基盤強化を支援します。

## 5 人々との交流による活力あるまちづくり

高野町には国内はもとより、世界各地から年間約 120 万人の観光客が私たちのふるさとを訪れます。私たちは、魅力ある地域資源を世界に、そして未来に発信することで、多くの訪問参詣者をここ高野山に招き、共に学びあうことが大切です。

このため私たちは、訪れる人々に「おもてなしのこころ」で接し、人々との交流による活力あるまちづくりを進めます。

### 交流の推進

「おもてなしのこころ」あふれるあたたかいまちづくりを進め、国内外の人々と積極的に交流する機会を増やし、活力のあるまちづくりへとつなげます。また、こうした交流を通じて高野町の明日を担う人材を育てていきます。



### 高野山の魅力発信

高野山は、1200年の永きに渡って守り伝えられた精神文化と、それを取り巻く文化的景観にあふれる宗教都市です。私たちは“聖地高野山”の魅力を「高野山学」や「高野山創造学」の学びの場と連携して再発見し、交流の拡大につとめます。